

警城之實業

發行所 警城之實業社
印刷所 警城之實業社
定価 一年十元 半年六元 三ヶ月三元
零售 每部一元
行發日五十月一四二月每

時局の書籍等を讀んで

▲漸く秋の氣分になりかけて来たが、今年は何の潤でも七月が二つあるので残暑が長引くので暑さは又暑くてたまらない秋の夜永に時局刊行本の幾冊かを讀んで議論の多過ぎるの感を感じては政府の何れの政をとり民間は何れの説を支持せんとするか迷はざるを得ない。官も民も不動の政策に一致して欲しい。此處に對し輿論を列擧して其の正邪に對し批判して見ることとする。

▲第一の論者は云ふ——ソ聯は必ず自滅する運命にある。古來ソ聯の如き愚政を行つて倒れない國家は無く歴史は昭々としてこれを證してある。無限なる瀕瀕の結果はスターリン自ら墓穴を掘つてゐると等しく、ソ聯は目下瀕瀕によつて自滅作用を遂げてゐるのである。それと戦争などするのとは愚の骨頂で傍觀してあれば其のうちにソ聯は自ら倒潰してしまふであらう。

▲第二の論者は云ふ——瀕瀕の結果自滅するかしないか不明であるが少くも二、三年はソ聯は瀕瀕の結果日本を攻撃する實力を失つてゐる。其間に我國は支那問題を片付けて戦備を充實すべきである。二見を迫るものは一見も得ず、支那問題を非難にしておいてソ聯と戦ふことを考へるものは、戦略上から見れば下の下に屬するものである。

▲第三の論者は云ふ——ソ聯が何時か自滅するだらうと云つて手を拱いて待つて居るのは無謀である。火事は燃え盡きれば何時か消えるだらうと云つて消火しないでおけるものでなく何時かは自滅するであらうからとて、それまで無論ソ聯の如き危險物を放任しておけるものではない。だが同時に二見を迫るものは一見を得ずと云つて二、三年待てと云ふのも愚論である。支那とソ聯は二見と見るべきでなく支那は一見の前脚でソ聯は後脚だ邪魔なのは後足の方でソ聯を磨き出すのは近視眼でソ聯をやうと考へるのは近視眼流の云ふことである。ソ聯が

平の一隅より

▲第五の論者は云ふ——漢口が濟南でも廣東東莞、西安あり北支内部に匪賊あり、軍需品は急に補充出来ず、ソ聯に比して我が兵器は餘りに不十分である。さう急にソ聯に向へるものでない最少限度で二、三年は戦勝力充實の爲めに期限が欲しい。ソ聯が挑戦して来れば断乎として叩きつけてよいが成るべくならば我慢して相手にならぬ方がよい。

▲第六の論者は云ふ——國力は充實に二、三年は欲しいであらう。だが一方ソ聯は支那に武器を送り匪賊を煽動して日本の消滅戦を限りなく展開させてゐる従つてソ聯の手にのせらるゝこととなる其間に英米、佛の軍備も着々充實されて行く。ソ聯がそれ等の後援を期待して持久戦の姿勢をとつて攻て来るならば、日本は世界中から袋叩きの目に會ふやうな結果になる。日ソ衝突は絶対に今年の後より遅れてはならない二、三年遅れれば對ソ戦は英米戦に接近する危険がある。ソ聯の實力は張鼓峰事件で試験済みだ。一、二年後の包圍さるゝ運命を考へるときは多少冒險でも敵を個々に撃破する必要がある。

▲最後に吾人は思ふ——張鼓峰事件の如きソ聯側の不法行為は今後共謀遂げられるであらう我國は漢口攻略後支那には守備の姿勢を至念にとることは無庸重要だソ聯に對しては世界の包圍隊の結成されぬうち即ち今冬より遼東から手附手附の火蓋を切るべきである。明多となれば對ソ戦は英米の軍備充實期に餘りに接近する遂にすれば世界の包圍隊は完成する。遂に國家の爲政者にとつて大務物である今冬に決戦することは準備の上から見て例へば冒險でもその後に来るを以てその文化生活の内容を裕かにした、日本では古來勳功者には御劍を賜つたが、支那では御賜の御劍は直に標榜に參與させたものだとのことである、今回支那事變を契機として日本に於ける書道復興運動を愈々盛んならしめ支那も再び視の文化を取戻し孔孟の學、古來の文化黒客の藝術を再興して日支協同の東洋文化が隆盛に至れば兩國の

福島・原町

筆者所用あつて八月下旬福島及原町に遊ぶ而して兩市の夜景を見る。福島市は本縣の首都、普通ならば一番に繁華なるべきが當然と思はれるのに商店にお客のあまりに居らざるに驚き是れで察しになるものかと思はれる程である。宿原なども思はしからずとあつては他よりの往復も少ないことだから、先づ先づ景氣がよいとは云へないであらう。原町は人口一萬二千で海岸線では平に次ぐ町である、よく賑町一致で其の發展には努力し然る事業要領に熱意のあるも夜間街路に行き交ふ人はあまりに少なきには淋しさを感じ前進しつゝある町としてはどこにか調整を欠ける點があるやうに思はれた。

爲これより幸はないであらう

平で渡す新聞に「スピー」時代にパーマント健康美時代に溢れとオン美術、婦人御洋服にパーマント値段は全部で四圓外に三圓と此の廣告を見て世は非常時である、四圓の三圓のと要するに至つては清風會館對策を考へさせられる。(二面へ續く)

(一面より) マネットといへば髪のはげしさが出来るやうであるがセツトをやつて貰ひに行かなければならない決して三ヶ月も半年も持たないではない、髪をバネットにしシヤケバシキ...

平消防の野崎氏 訴訟問題の解決

去月二十三日の東京各新聞地方版に「野崎氏訴訟問題」の標題で、野崎氏訴訟問題の解決を論じている。野崎氏訴訟問題の解決は、本市消防組の存続と否を決定するに直結するものである。

報道せぬ新聞紙

雑感

戦が始まってから既に一年以上になる。敵味方合せて百数十萬の生霊が此間戰場の露と消えたことは無常迅速といはうか如露如電と申さうか。只眼目合掌するのみである。此犠牲が礎石となつて其上に東

昨年暮の縣合席上、平消防組の威信を傷ける如き言論をなしたといふので憤つた消防組では組頭井上茂作、副組頭内正一氏外四名から野崎氏を相手取り平消防組に名譽毀損の告訴を開始した。野崎氏は多分の注意を払い、その成行きは多大の注目を惹いてゐるが、野崎氏は、小田吉治氏、長、請橋久太郎、小田吉治氏の四名が仲裁役を買つて出で、一日各口様に合同野崎氏から、その言葉は警察裁決審議に際し不用意にも何々述べたもので、決して平消防組を傷ける意思などなかつた。

書信披露

八月一日発行の貴紙一面に掲げた「平の政友会」の爲めに「政友会」の政友会を進行の論議に我々政友会に好意を持つ地方農村の者としては同様に堪へざる次第に御座候町より市へと發展したる平市の市會に於て政友派が二ツにも三ツにも分裂して反對黨の傘下に居るは居る事には憤慨しないでも居られませぬ御座候町より市へはまさにトチカ以上と存せられ候今後は彼等と呼ぶにオイトーチカ君と申さうかと爆発せざるを得ず候斯る考へ違

面之安定と和平とが確立するにあらざる所謂活人劍即ち善悪の剣である。縱横無道に支那大陸と海上とに飛躍した我陸海空三軍の戦跡を見れば、敵古未嘗有て實に鬼神を欺く勇猛と、神曲天功の作戦とは能も此までやつて呉たものだと感激に堪へない、もう一度口の占領など問題ではない、愈々日本の大方針を遂行する新段階に進入したのである。

戦場の空気を灼熱する、水蒸気を上昇させる空は念慮なき熱を帯びるから此決熱的空氣の交差が漸次東遷して我が本土へ上陸し氣流の擾亂は必然に颶風の種を蒔くこととなるではあるまいか、若し是迄の大水が是の原因なりと萬々假定すれば吾々は罹災民に御座候、吾々を苦しめ或は無辜の支那民の犠牲の一部を負擔すると云ふ天の配判とし

理想郷建設に邁進する

箕輪永戸組合村

萩野村長初め理事者の努力

石城郡山形村の一部たる箕輪永戸組合村は七里四方人口四千八百八十五人世帯六百四十戸西は東白河郡宮本村、東は赤井村、南は磐梯、内郷村、北は川前、三坂村に接してゐるのである。組合村内には小学校の本校五校の存在とは全圖でも先づ珍らしい方であらう。

それが學級二十に職員十九人児童七百人で教育費は村費四萬圓に對して一萬六千餘圓を要してゐる。村會議員二十四名中に三期以上を勤めてゐるは合津保見(永戸)柴崎左七(同)藤原齊(箕輪)高秋章(同)高秋國太(同)の五氏があり役員吏員七名中十五年以上勤続者は草野清省、合津忠男の兩氏を數へ収入役渡邊左衛門、助役阿部友親兩氏共二期に及んで居る。名村長萩野會太氏は書記より助役二期村長二期で自治政發布五十周年記念に勤続三十三年間の功績顯著なるの故を以て表彰されてゐる。而して組合村と云へば現存の圓滿性を欠き易く理事者の選擧などに對しては地理的と感情上から運動が試みられ自治體を確立するが如き事情を察するの例が多いに獨り

益々躍進しつつある

堀江工業の展望

専務・常務の協力一致 社員五十名の奮闘強化

支那事變が長期となつた今日國防産業に資するべく重工業の基礎を造る役割を持つ土木建築に合理化經營を實踐するし國策強化の特性を遺憾なく發揮し斯界に其の重きをなしてゐる平市堀江工業株式會社は創設の偉人江口忠一氏死後四年間を経過したる現今の業績は實に刮目に値すべき堅實性の飛躍振りは東北六縣中秋田の栗原組と共の二位を爭ふ程である。年間の仕事を高俊に百五十萬圓を上し常時人夫二千人と社員五十名は緊密なる協働を保つて業績の進展に只管邁進してゐるが如き陣容の整備に至つては業界の模範と稱讃されて居るのである。目下の請負工事の一端を記せば小名浜水道、平市公會堂、日本水素工業、赤井日曹上邊野の大日嶺山、磐城セメ

平和の理想郷が建設されつつある。村民大衆は理事者を信賴し父兄一般は小學生を尊敬し理事者又よく自治體の精神を遺憾なく發揮して村は家庭の延長なりとをモットーに私滅私公に努力しつつあることはよろこばしい次第である

平消防組と役員問題

平消防は名組頭井上茂作氏の病氣全快後は各々自適の境涯に消防組を離退するものと見られてゐる。此の場合の後継

秀風山瑞芳寺 桃山式建立落慶

住職宮下師の信望

内郷村宮下秀實師は曹洞宗石城郡教區長で方面委員でもある。師は信仰生活と社會事業に専念して俗界に絕對無礙の活動することを以て眞の宗教家なりと稱して居る程である。即ち十方無礙の光明を以て無明煩惱の闇黒を照破し廻心轉悟せしむるものは無限大悲の無碍の一道を以てするべきである。師は瑞芳寺に於ては是れ努めて總務を前に立て、無念無想の野狐禪よろしき曹流後の坊様ではなからず、八萬四千の煩惱も何のそとと國家總動員に於て終局の勝利を期する如く精神的自覺の上にも一無礙道の徹底的威

盡忠美談 素的の贈物

平市磐城石城發達獎勵會軍兵部同部木田藤次郎氏編纂に於ける「支那事變に於ける郷土勇士盡忠美談」と題する三五冊百頁の書籍を今回數千部發刊されたが出征兵に對する慰問品としては頗る素的の好誼を博し各町村後會より陸文被到の有様で價格の如きも實價頒布と云ふ殆ど奉仕的に取扱つて居ると云ふ。

磐城之實業は今後發行期日確實

燈火管制

皆さんは承知のことか、思ひますが東部防衛司令部の命令により縣では全縣へ向つて燈火管制を告示し十二日より實施することとなりました。

これは東部防衛司令部にそなへるためのもので在來の防空演習法第十條による燈火管制と異なり、警戒時体制の初めでの實施で警戒管制に移行する一應となつて居ります。

此の管制の意義はつまり警戒管制に至らない情勢にあるが萬一の場合を考慮して屋外の光が天窓に反射して遠方から都市の存在を明かにならしめないやうに必要に應じ直に警戒管制に移り得るやうに屋外燈の一部を消滅するもので、然らばどんな燈火を管制すべきかと云ふと次の様な種類です。

- 一、廣告、看板、標識、其他先づ槍玉に上るのはカフェ、商店等のネオンサインや床屋さんの軒頭にある節電のやうな看板、またはピカピカ光つてゐるものなどは厳禁です。
- 一、内軒燈、又はこれに準ずるもの、一般家庭の軒燈は勿論消して下さい、支那の中にあるものも消滅して

處世訓

置きませう。特別屋外燈、公園等の中にある燈火は全然消さなければなりません、従つて今までの風習はなくなり、然しそれは非常時のことと思ふべきが當然です。

當局では萬全を期して居りますが、勿論これには縣民の理解と協力が絶対に必要な譯で、大いに告示の要旨に沿へませう。違反者はどしどし、検察、拘留料等に處せられることになつてゐますから協力致しませう。

- 一、人は現在の職分に最も忠實熱心なれ。
- 一、眞の信用を得んとするには、縁の下の方持こそ大事なれ。
- 一、自力なくんば他力も益なし、恃むべきは唯自家の才力あるのみ。
- 一、山に在つて薪を蓄み、川に臨んで水を節せよ。
- 一、社會の事物は成るべく批評してこそ能く活能し能く活能するを得るもの也。
- 一、思想言論の獨立を企てるが爲に、先づ生活の獨立を計れ。
- 一、世に立ち融通の利く人となれ。

小額資金

確實な組合組織出資小額利益は高率
優良實株賣買による絶対安全の方法



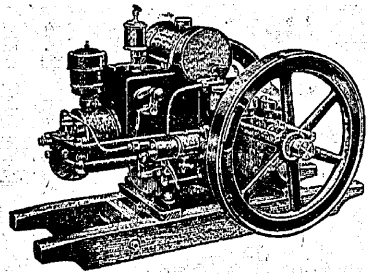
「利殖之妙諦」未だ御覽になぬ方は、東京市日本橋區兜町二一九大和證券投資會へ御申込になれば早速贈呈致します。

又、「利殖之妙諦」記述に就て御疑問あれば、御質問下さい詳細に御説明御回答申上げます。

銅鐵金物一切

磐城セメント特約代理店
三井生命保險平代理店
釜屋商店
平市五丁目 電話九九番
デンキ・タイヤ部 電話六三二番
ヤンマト(専賣特許)十数件併用

本邦ノ詩界唯一ノ小型



純デゼルエンジン

【強鐵一付日力馬一時間一費料燃】
業企力水・具器農・械機種各
代理店
常磐ヤーマン會商
新妻良平
日六市平

常磐炭礦誌

前小田炭礦 常務取締役 蘭部政治著
常磐炭界五十年の變遷を輯録せる頗る有益の著書である。
第一版最早賣切れんとす此際奮つて御購讀を乞ふ。
【定價一圓三十錢也】
四六判約二百頁

發行所 磐城之實業社
平市仲町二三 電話七二九番

二名程募集

二十二三才迄の住込 職人
十五六才迄の住込 見習
右優遇雇入れたし

大和田印刷所
平市仲町(電話七二九番)